

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場(島松着弾地及び島松地区に限る。)関連公共用施設(交通施設:道路維持作業車購入)整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市土木事務所(北広島市共栄196番地1)						
補助事業の成果の目標	<p>本市における道路維持作業は、2台の道路維持作業車により実施している。市保有の道路維持作業車は、市財政上の問題から老朽化が進み、車両維持による修繕費が嵩むことから、車両の更新が必要である。</p> <p>過去においては、突発的な車両の故障により予定している道路の維持・保全作業の遅延や緊急対応の機動力低下など道路の維持管理体制の安定性が問われている。</p> <p>本事業を行うことにより、安定した道路の維持・保全体制を整え、道路交通の安全性を確保する。</p>						
補助事業の内容	道路維持作業車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成29年8月～平成30年2月						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費		円 6,058,800	円	円	円	円 6,058,800
	交付金額		5,800,000				5,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施により、安定した維持管理体制が整えられ、現場対応の職員からは、日々の道路維持作業を円滑に行うことができたとの評価が得られるなど、市民生活の安全性が確保できた。</p> <p>なお、特定防衛施設周辺整備事業であることを車両に表示し、また、市ホームページに掲載し、市民に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も市民生活の安全性を確保できるように適切に管理し、今後の車両更新等を計画する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設 （交通施設：市道大曲5号線道路改良舗装）整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市大曲中央1丁目						
補助事業の成果の目標	当該路線は、地域住民が利用する市街地内の生活道路として使用されているが、老朽化により路面破損等が著しい状況にあるため、改良舗装することにより、生活環境の改善を図る。また、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりにも寄与する。						
補助事業の内容	全 体：路盤改良・アスファルト舗装工事 L=230.6m W=4.0m 本年度実施分：路盤改良・アスファルト舗装工事 L=52.5m W=4.0m						
補助事業の始期及び終期	全 体：平成23年度～平成29年度 本年度実施分：平成29年8月～平成29年10月						
事業費及び交付金額		平成28年度まで	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費	円 40,741,733	円 13,443,249	円	円	円	円 54,184,982
	交付金額	円 36,676,000	円 12,900,000				円 49,576,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事实施により、円滑な交通を阻害する原因である亀裂や陥没等が除去され、近隣住民の生活環境および地域の生活基盤の向上が図られた。また、道路線形を変更したことにより、通行時の視認性が向上し、交通面における安全性が改善された。</p> <p>沿線住民への聞き取りでは、「道路に発生していた亀裂や陥没が除去されたことにより、安全且つ快適な通行が可能となった」、「水溜りが無くなる等、道路の排水状況が良化し、生活環境が改善された」、「道路の幅が統一されたことで車両同士のすれ違いが円滑に行えるようになった」といった事業への評価を得た。</p> <p>なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を工事案内文に記載し、周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも道路状況を確認し、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（交通施設：市道稲穂東21番通線外道路改良舗装）整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市 稲穂町西7丁目						
補助事業の成果の目標	当該路線は、地先住民が利用する市街地内の生活道路として使用されているが、老朽化により路面破損等が著しい状況にあるため、改良舗装することにより、生活環境の改善を図る。また、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりにも寄与する。						
補助事業の内容	全 体：路盤改良・アスファルト舗装工事 W=4.0m L=349.63m 本年度実施分：路盤改良・アスファルト舗装工事 W=4.0m L=155.62m						
補助事業の始期及び終期	全 体：平成27年度～平成29年度 本年度実施分：平成29年10月～平成30年1月						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費	円 37,821,600	円 25,747,200	円	円	円	円 63,568,800
	交付金額	21,087,000	24,000,000				45,087,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工実施により、円滑な交通を阻害する原因である亀裂や陥没等が除去され、近隣住民の生活環境および地域の生活基盤の向上が図られた。</p> <p>沿線住民への聞き取りでは、道路に発生していた亀裂や陥没等が除去されたことにより、安全で快適な通行が可能になった、排水設備が整備されたことにより水たまりがなくなり生活環境の改善が図られた、といった事業への評価を得た。</p> <p>なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を工事案内文に記載し、周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも道路状況を確認し、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（教育文化施設：中学校プロジェクター購入）整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市立東部中学校（北広島市美咲き野1丁目12番地1）外5校						
補助事業の成果の目標	<p>北広島市では、市内全小中学校の普通教室のほか、理科室等の特別教室にプロジェクターを整備し、電子黒板機能を活用した授業をはじめ、デジタル教科書やWEB配信の教育用コンテンツ利用など、学校ICTの環境整備を図り、効果的な学習を実践しているところである。</p> <p>平成21年度に整備したプロジェクターは、多くの授業で活用されているところであるが、耐用年数の経過による投射輝度の劣化や、稼働時間を越えたプロジェクターランプの球切れが頻繁に発生している状況である。</p> <p>このことから、プロジェクターの更新を行い、より明るく、鮮明な映像を投射することで、ICTの活用による教育の充実を図り、生徒一人ひとりの確かな学力を育むとともに、社会の変化に主体的に対応し、自ら学び、自ら考える力の育成を図っていく。</p>						
補助事業の内容	中学校プロジェクター 86台						
補助事業の始期及び終期	平成29年10月～平成29年11月						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		10,216,800	12,071,308	12,071,308	0	34,359,416
			8,900,000	10,493,500	10,493,500	0	29,887,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>プロジェクター更新前と更新後の状況について、ICT担当教諭や生徒に聴き取りを行った結果、映像の品質向上により文字等が鮮明で見やすくなったという意見や、更新前ではカーテンを閉め切っても映像が暗く見えにくかったが、カーテンを閉めなくても明るく映るほど、見やすくなったという意見があった。</p> <p>鮮明な映像により、生徒の集中力を落とすことなく、より効率的で教育効果の高い授業が期待できるなどの意見があり、ICTを活用した教育の実践に大きく寄与したものと評価できる。</p> <p>なお、本事業の実施について、市教委HPや学校だよりに掲載し、市民に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	設備更新のあった学校における今後の活用例を参考としつつ、次年度以降も他校において計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共用施設（教育文化施設：東部中学校放送設備）整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市立東部中学校（北広島市美咲野1丁目12番地1）						
補助事業の成果の目標	<p>東部中学校の放送設備は、平成16年度に更新して以降、13年が経過した状況のなか、当時整備したアナログ方式の映像・音声機器により、日常の校内放送をはじめ、保護者等が出席する学校行事等に活用している状況である。</p> <p>本市では、文部科学省が策定した「中学校施設整備指針」に基づき、学校教育を進める上での視聴覚教育メディア、教材・教具等の整備充実を図り、視聴覚機器や放送設備を活用した効率的で教育効果の高い授業の実践に取り組んでいるところであり、市内小中学校の放送設備の計画的な更新を進めることとしている。</p> <p>このことから、本事業の実施により、映像・音声のデジタル化をはじめ、放送室を基盤とした施設・設備全体の高機能化を実施することで、教育環境の改善・充実を図る。</p>						
補助事業の内容	学校放送設備一式						
補助事業の始期及び終期	平成29年11月～平成30年2月						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費	円	円 9,817,200	円	円	円	円 9,817,200
	交付金額		円 9,728,000				円 9,728,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業に関し、放送室管理担当教諭や生徒に聞き取りを行なったところ、「映像の品質向上により視聴しやすくなった」、「映像系の操作がタッチパネルとなり分かりやすくなった」、「ハイビジョン中継放送ユニットの導入により、音楽室や体育館などの様子を各教室に中継放送することが可能となったことから、参観日等での保護者対応が向上し、より効率的で教育効果の高い授業が期待できる」などの意見があり、同校における視聴覚教育の実践に大きく寄与したものと評価できる。</p> <p>また、AV調整卓に「平成29年度 防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」により導入した旨を表示するとともに、市教委ホームページに掲載し市民への周知を行い、併せて学校だよりへの掲載を通して、保護者への周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	各小中学校放送設備の状況を見ながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）関連公共施設（防災に関する事業：防災資機材等）整備事業						
補助事業者名	北広島市						
実施場所	北広島市防災センター（北広島市共栄586番地） 北広島市広葉交流センターいこよ（北広島市広葉町3丁目1番地） 北広島市立東部小学校（北広島市中央4丁目4番地） 北広島市総合体育館（北広島市共栄315番地2） 西の里会館（北広島市西の里南1丁目2番地2） 北広島市農民研修センター（北広島市輪厚中央4丁目12番地17）						
補助事業の成果の目標	本市においては、災害への対処や災害時の避難場所等における市民生活の安定を図るため、防災備蓄品整備計画において防災資機材や備蓄食料品等の生活関連物資の目標数量を定め、計画的に整備を進めているところであり、引き続き本事業を実施することにより、災害対策の充実を図る。						
補助事業の内容	防災資機材等の整備						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～平成30年度						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度 予定	平成31年度 予定	平成32年度 予定	計
	事業費	円 3,043,599	円 2,505,297	円 2,971,382	円 0	円 0	円 8,520,278
	交付金額	3,000,000	2,450,000	2,370,000	0	0	7,820,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	災害時に必要な防災備蓄品等の整備を、「防災備蓄品整備計画」どおりに進めることが出来たことにより、災害対策の更なる充実が図れた。 また、納品した防災備蓄物等に「平成29年度 防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」により導入した旨を表示するとともに、市ホームページに掲載し、市民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	防災備蓄品整備計画に基づき、数値目標を達成できるよう今後も計画的に整備を進めていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						